

中学二年生を終えて

私が学年末を終えての感想は、得意な教科は高得点を安定してとることができ、苦手な教科でも、点がとれるようになり、うれしかったことです。

特に得意な数学では、診断テストと学年末テストではどちらも満点がとれ、苦手意識があった英語や国語でも、塾に通うことができたおかげでこれまでより多くの問題にとりくめるようになり、90点以上を安定してとれるようになりました。成績も徐々に安定し、模試の順位も着実に上がってきました。現在では、もうすぐ順位が一桁台に届くところまできており、大きな励みになっています。今は志望校である 高校の合格という目標に向けて、より一層努力を重ねています。今年から受験生なので、これまでよりも多くの勉強をしていきたいです。今回いただいた奨学金は、自分にとって大きな支えであり、その期待に応えられるよう、これからも毎日の学習を大切にし、最後まであきらめずに取り組んでいきたいと思えます。

「一歩の重み、これからの覚悟」

次年度、私は高校生として新たな一歩を踏み出します。第一志望であった、高校に合格することができたのは、自分一人の力ではなく、砂原児童基金の皆様からのお力添えと奨学金によるご支援、そして日々励まし導いてくださった先生方や母の存在があったからです。多くの方々を支えられていることを深く実感し、心より感謝しております。

この数か月は、休むことなく勉強に向き合いました。特に苦手であった国語力については、毎日先生に添削していただきながら書く力を磨き、表現への苦手意識を徐々に克服することができました。思うように結果が出ず悩むこともありましたが、努力を積み重ねる中で、粘り強く取り組む姿勢を身に付けることができたと感じております。

これからの高校生活では、学びをさらに深めるとともに、新たな環境の中で主体的に挑戦を重ね、自らの可能性を広げていきたいと

考えています。そして気持ちを新たに大学進学を目標に掲げ、日々研鑽を積んでいきます。これまで支えてくださった方々への感謝を胸に、未来は自分も誰かの力となる人間へと成長していきたいです。

報化社会においてハードウェアとソフトウェアの技術を融合した技術に対応できるように日々学習を続けていきます。また、一日でも早くお世話にな、た人達に恩返しができるよう頑張ります。

最後になりますが、四年間ご支援いただきました。ありがとうございます。この恩を忘れず、これからご過ごしていきたいと思います。